



肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第21号

2017年4月号

目次

平成29年度役員一覧	1
肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶	2
肺がんCT検診認定機構 監事就任のご挨拶	4
肺がんCT検診認定機構 監事退任のご挨拶	5
第17回肺がんCT検診認定技師講習会、 第12回更新講習会(駒沢) 報告	5
第12回肺がんCT検診認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会 報告	6
肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内	7
関連会議のご案内	9
編集後記	11

平成29年度役員一覧

2017年3月9日開催の総会におきまして、下記のとおり役員が選任され、それぞれ就任されました。

新役職	担当	氏名	所属施設
代表理事		金子 昌弘	(公財) 東京都予防医学協会
副代表理事		江口 研二	帝京大学 難治疾患支援学講座
副代表理事	技師認定委員長	花井 耕造	(公財) 結核予防会 複十字病院 放射線診療部
理事		柿沼龍太郎	医療法人財団健貢会 総合東京病院
理事		佐川 元保	東北医科薬科大学病院 光学診療部
理事	総務委員長	中川 徹	(株) 日立製作所 日立事業所 日立健康管理センタ
理事	医師認定委員長	西井 研治	岡山県健康づくり財団附属病院
理事		丸山雄一郎	JA 長野厚生連小諸厚生総合病院

新役職	担当	氏名	所属施設
理事	施設認定委員長	村田喜代史	滋賀医科大学医学部 放射線医学講座
理事	財務副委員長	山口 功	学校法人物療学園 大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科
理事	財務委員長	吉村 明修	東京医科大学 臨床腫瘍科
理事（新任）		村松 禎久	国立がん研究センター東病院 放射線技術部
理事（新任）		牛尾 哲敏	滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部
理事（新任）		小林 健	石川県立中央病院
理事（新任）		桜田 晃	東北大学呼吸器外科
理事（新任）		栗井 和夫	広島大学放射線診断科
監事		長尾 啓一	柏戸記念財団ポートスクエア柏戸クリニック
監事（新任）		東村 享治	京都大学医学部附属病院 放射線部

肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶

氏 名：村松禎久

所 属：国立がん研究センター東病院 放射線技術部

専門分野：X線CT装置の性能評価（線量評価）



この度、本認定機構理事を拝命いたしました村松禎久と申します。現在の所属は国立がん研究センター東病院放射線技術部で、放射線技術部長として診療放射線技師の統括および放射線診断技術室の室長として放射線検査業務全般の管理を任されています。また本認定機構では、設立以来、診療放射線技師（技師）部門の講習会および認定試験の東日本実行委員長として、技師の認定事業に関わって参りました。

技師の認定事業の中で、医師とは異なり読影能力を担保できない前提から、筆記試験だけでなく異常所見検出試験システムが導入されました。一定の読影訓練を経た技師であれば一次読影者としての役割を担えるとの仮定において開始され、その成果は2013年の北米放射線学会でもポスター発表され、世界から多くの評価をいただきました。

しかし、最近の認定技師試験の結果は残念ながら異常所見検出試験の成績が芳しくなく、各施設において日常的に画像を観察し、かつ読影に携わることが重要と推測されます。ただし、確実に言い切るには合格率のみで測ることはできません。具体的にどのような受験者が合格し、どのような受験者が合格しないのかを解析しなければなりません。このためには、より一層標準化された情報通信技術（ICT）を活用し、その結果と対策（案）をいち早く発信し、認定医師・技師の皆様のお力を借りて、より優秀な認定技師を輩出するサイクルを作ることが必要と考えています。

そういった意味では、可及的速やかに事業化したい施設の認定事業も同様と考えます。巷ではビッグデータ分析に高い関心が寄せられていますが、山積みされたデータの様がビッグではなく、分析結果を称してビッグである必要があります。すでに米国ではACRがNRDRの一環として、The Lung Cancer Screening Registry（LCSR）と称し、Medicare & Medicaid Services（CMS）と連携して事業化しています。本邦においても、米国とのデータ比較が容易にできるように、検

診（技術）の精度管理の見える化を強く推進していかねばなりません。

おわりに、私自身も微力ながら認定事業に力添えできるよう、一生懸命会務を遂行いたします。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、お願いを申し上げます。

氏 名：牛尾 哲敏

所 属：滋賀医科大学医学部附属病院放射線部

専門分野：CT全般



このたび、肺がんCT検診認定機構の理事を拝命しました滋賀医大の牛尾です。これまで肺がんCT検診認定機構技師部門の運営委員、西日本実行委員として機構の運営に携わって参りましたが、今年度より理事という立場で、医師部門の先生方とも連携を密にし、今まで以上に機構の発展のために精進していく所存です。

皆様ご存知のように、肺がんCT検診認定機構は、医師部門、技師部門が存在し、認定医、認定技師の共存こそがCT検診の安全性向上、精度向上には重要であります。そのためにも、技師部門の異常所見検出能力のさらなる向上を目指した認定講習会を継続していくこと、また、施設認定制度に向けた取り組みを進めていくとともに、その認知度アップにも力を注ぎ、今後益々増加するであろう肺がんCT検診が、国民にとって安全で安心して受けられる検査となるように、機構の一員として活動していきたいと思っております。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

氏 名：小林 健

所 属：石川県立中央病院 放射線診断科 診療部長

専門分野：画像診断学 胸部画像診断



このたび、肺がんCT検診認定機構の理事を拝命しました。何卒宜しくお願ひ申し上げます。私は画像診断医として、出身の金沢大学放射線科で胸部画像診断とりわけ肺がんの画像診断に関して研究を続けてきました。2002年に日本で2番目のMDCTを搭載したCT検診車が地元を導入され、その撮影条件設定や読影環境の作成にかかわったのが私と肺がんCT検診との出会いでした。以降、撮影された検診CTの読影に従事しつつ、日本肺癌学会の肺がん検診委員会の委員として、また、佐川元保先生が始められた肺がんCT検診研究班の班員として、肺がん検診CTの被曝や画質、読影に関して臨床的な研究に参画させていただいています。

肺がんは各種治療法が進歩した現在でも罹患率が高く予後の悪いがんの代表であり、早期発見が肺がん死亡減少に寄与すると考えます。肺がん検診には現在、胸部単純写真と喀痰細胞診が使われていますが、胸部単純写真での早期の肺がん発見には限界があり、胸部CTは肺野を死角なく観察できるという点で肺がんの早期発見にきわめて有用な検査法と言えます。とはいえ、たくさんの血管がある肺の中ではCTでも発見の難しい結節が認められます。見落としのない読影には良好なCT画像、読影環境、異常検出力が必要です。一方、健常者であっても、胸部CTを行うと肺の中にたくさんの肺がんを否定できない影が見つかってきます。これらの中からいかに肺

がん候補陰影を最小限にできるかも肺がんCT検診を有効なものにするために重要と考えます。

本機構はこのような正しい肺がんCT検診の読影技術の普及、向上にきわめて重要な役割を果たしていると考えます。微力ではありますが、肺がんCT検診認定機構の発展に貢献できればと思っています。会員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

氏 名：桜田 晃

所 属：東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野

専門分野：呼吸器外科



このたび、本機構の理事を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。皆様ご存知の通り、低線量CTを用いた肺がん検診の意義は、現在、佐川班において研究が進められており、私自身は宮城県における研究に関与しております。CT撮影、読影、関係者による判定会、精査という一連の作業をする中で、十分な知識を持った関係者により検診が運営されることの重要性を感じています。またCT検診特有の精度管理指標とその管理の仕方が今後整備されていくものと考えております。さて、本機構の任務は、肺がんCT検診の受診者が一定以上のレベルで行われるよう、放射線技師、医師、実施施設を評価して、受診者に高品質のCT検診を提供することに寄与するということであると理解しています。肺がんCT検診は今後も件数の増加が見込まれますが、必要な知識を有する人材を増やし、肺がんCT検診が適切に施行されるように環境を整えていくことが不可欠です。今後、機構の役割を推進することに少しでも貢献できるように努力いたして参りますので、どうかよろしくお願いいたします。

肺がんCT検診認定機構 監事就任のご挨拶

氏 名：東村享治

所 属：京都大学医学部附属病院 放射線診断科

専門分野：放射線医療安全学



このたびは、肺がんCT検診認定機構の監事を拝命しました東村享治と申します。今年3月に京都大学医学部附属病院 放射線技師長を定年退職し、現在は京都大学医学部附属病院の放射線診断科研究員として勤めております。

本認定機構では、これまで財務理事として、また技師部門の講習会認定試験の西日本実行委員長として関わって参りましたが、今回は、本機構の監事として、肺がんCT検診認定機構の発展に貢献できればと思っています。

新しい施設認定制度の整備や認定医や認定技師の更新制度も固まりつつありますが、この肺がんCT検診認定機構の認定制度がより国民に分かり易く、国民から信頼される事業として適正に実施されているか、長尾先生とともに監事としての責務を果たして参りたいと思います。会員の皆様には、今後ともよろしくお願い申し上げます。

肺がんCT検診認定機構 監事退任のご挨拶

元 公益財団法人 神奈川県予防医学協会 専門委員
萩原 明

永い間大変お世話になりました。力不足でお役にたてなかったことも多くありましたが、特定非営利活動法人 肺がんCT検診認定機構 初代代表理事の長尾啓一先生のご指導のもと、何とか理事そして監査を務めさせていただきました。

これも関係者皆様のお蔭と感謝申し上げます。今後の益々の活躍と発展を祈念いたします。

第17回肺がんCT検診認定技師講習会、 第12回更新講習会（駒沢）報告

NPO法人肺がんCT検診認定機構 認定技師部門責任者
花井耕造

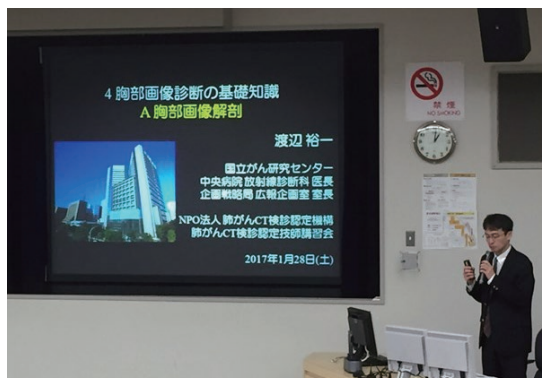
NPO法人肺がんCT検診認定機構主催の第17回肺がんCT検診認定技師講習会（以下、定期講習会）および、第12回認定技師更新講習会が平成29年1月28日（土）、29日（日）に駒沢大学で開催されました。第17回定期講習会は全国244施設より283名の応募があり113名（内、19名が認定試験のみの受講者）が受講されました。また同日に開催された更新講習会受講者数は25名が受講されました。この結果、第17回定期講習会、第12回更新講習会が終了し認定技師数は1,170名となりました（事務局註：2017年3月31日現在）。また現在までの認定技師更新率は平均74%です。認定講習会会場および異常所見検出試験のためのPC会場の使用にご協力をいただいた駒沢大学の方々、および講義の講師をお引き受けいただいた先生方に深謝を申し上げます。



現在、肺がんCT検診に対し公的補助を行っている施設数は全国1,818市町村区のうち、224市町村＝13.0%となっています。日本において低線量肺がんCT検診が胸部X線写真と組み合わせられた対策型検診となり得るのか、我々、肺がんCT検診に携わる認定医、認定技師に突き付けられた大きな課題です。次回の第18回定期講習会、第13回更新講習会は平成29年7月29日（土）、30日（日）に滋賀医大で開催されます。多くの方の受講、および更新をお待ちしています。

■第13回更新講習会は下記の方が受講対象となります。認定証をご確認のうえ、お申し込みください。

1. 認定証の有効期限が2012年10月1日～2017年9月30日までの方
2. 認定証の有効期限が2013年4月1日～2018年3月31日までの方



第12回肺がんCT検診認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会 報告

特定非営利活動法人肺がんCT検診認定機構 事務局

平成29年3月26日(日)、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)1003で、下記プログラムで開催されました。今回は186名の事前申込者がありましたが、当日参加を含めて155名が受講されました。その内訳は、新規希望者79名、更新希望者76名でした。新規希望者の方は、これから書類審査等を行い、認定発表は6月までに行われる予定です。ちなみに、現在までに認定医師は1,312名、また、認定技師は1,192名に達しております(2017年4月1日現在)。

当機構における施設認定を2018年当初から実施するために、現在、施設認定委員会(委員長:村田喜代史)において最終的な実施要項等の検討が進められているところです。その詳細は後日、お知らせしますが、施設認定を受けるためには、その施設に認定医師と認定技師が在籍することが一つの条件になります。そのため、これまでに認定された方々は必ず、更新されるようお願いいたします。更新条件の詳細は、<http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/koushin/>を参照ください。また、更新時期等につきましては、事務局までお問い合わせください。今回の講習会受講により、7単位が授与されます。

第13回肺がんCT検診認定医師更新講習会兼認定医師新規認定講習会は、プログラムを一新させ、今年夏8月20日(日)に東京・コクヨホールで(<http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/workshop/>)、第14回肺がんCT検診認定医師更新講習会兼認定医師新規認定講習会は、来年3月18日(日)に大阪(大阪国際会議場1003)での開催を予定しております。また、施設認定のスタートを機に、更新講習会をより近くで受講できるよう、来年からは地方(福岡、仙台等)開催も計画しております。この点につきましては、皆様のご意見、ご希望をお聞かせください。多くの方の受講、および更新をお待ちしております。

第12回肺がんCT検診認定医師更新講習会兼認定医師新規認定講習会プログラム

- 10:30 ~ 11:00 「低線量肺がんCT検診の今後と展望」
西井 研治(岡山県健康づくり財団附属病院)
- 11:00 ~ 11:20 「低線量肺がんCT検診の実際」
山口 功(大阪物療大学)
- 11:20 ~ 11:50 「低線量肺がんCT検診で発見される肺がんと諸病変」

- 草野 涼（日立製作所日立健康管理センタ）
- 11:50 ～ 12:30 「肺がんリスク要因としての放射線」
島田 義也（放射線医学総合研究所）
- 13:30 ～ 14:00 「末梢小型肺癌に対する外科療法の現状 2017」
花岡 孝臣（JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院）
- 14:00 ～ 14:30 「低線量肺がんCT検診での読影と経過観察」
丸山雄一郎（JA長野厚生連 小諸厚生総合病院）
- 14:30 ～ 15:00 「低線量肺がんCT検診の精度管理の現状と課題」
中山 富雄（大阪府立成人病センター）



肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内

第18回 認定技師定期講習会、認定試験

日 時 平成29年7月29日（土）、30日（日）

1日目 9:35 ～ 17:15（受付9:00 ～ 9:30）

2日目 8:50 ～ 13:10

会 場 滋賀医科大学（滋賀県）

募集人数

① 講習会＋認定試験受講者として100名

※申し込みが多い場合は、事務局において選考し、検診施設に従事されている方を優先させていただきます。

② 認定試験のみの受験者10名前後

※認定試験のみの受験者とは第17回までの講習会を受講された方で再試験を希望される方を対象としています。

受講費用

① 講習会＋認定試験を受講の方：受講料：1万9千円（昼食代1日分込）

② 認定試験受験のみの方：受講料：1万円

申込期間 平成29年5月1日（月）～5月20日（土）

※5月1日の午前7時頃より受付開始予定です。

申込方法

肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師 講習会申し込みフォームよりお申込み下さい（Web申込）。※申し込み期間中のみ申し込みフォームがアクティブになります。

詳細HP：<http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/workshop/index.html>

第13回 認定技師更新講習会

日 時 平成29年7月29日（土）10：00～16：00（受付9：20～9：55）

会 場 滋賀医科大学（滋賀県）

受講対象者

1. 認定証の有効期限が2012年10月1日～2017年9月30日までの方

2. 認定証の有効期限が2013年4月1日～2018年3月31日までの方

※上記の方が対象となります。認定証をご確認の上お申し込みください。

受講費用 16,000円（認定登録料を含む、昼食付き）

申込期間 平成29年5月1日（月）～5月20日（土）

※5月1日の午前7時頃より受付開始予定です。

申込方法

肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師 講習会申し込みフォームよりお申込み下さい（Web申込）。

・申し込み期間中のみ申し込みフォームがアクティブになります。

・お手元に更新単位対象となる学会等の参加証をご準備ください。更新単位（25単位）に満たない場合は申込ができません。

詳細HP：<http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/koushin/kousyukai/index.html>

第13回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 平成29年8月20日（日）予定

会 場 コクヨホール（東京都）

※スケジュール等は、随時HP、メルマガ等にてお知らせいたします。

日本CT技術学会第5回学術大会

日 時 2017年6月24日(土) 9:30～18:00

会 場

本会場：石川県文教会館(〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5)

ポスター会場：金沢商工会議所(〒920-8639 石川県金沢市尾山町9-13 ※本会場から徒歩3分)

大会長 松原 孝祐(金沢大学医薬保健研究域)

参加費 会 員：2,000円、非会員：3,000円
(学生無料、社会人学生を除く)

懇親会

時 間：18:30～20:30(予定)

会 場：金沢商工会議所1階ホール

費 用：会員・非会員・賛助会員：5,000円
学生会員：3,000円

後 援

(公社)日本放射線技術学会／(公社)石川県診療放射線技師会／(公社)富山県診療放射線技師会／(公社)福井県診療放射線技師会

演題応募期間 2017年3月13日(月)～4月30日(日)

事前参加申込み期間 2017年4月10日(月)～6月9日(金)

認 定

- ・肺がんCT検診認定機構「肺がんCT検診認定技師」の更新講習会受講のための単位取得
- ・日本救急撮影技師認定機構「救急撮影技師」の更新のための単位取得
- ・日本X線CT専門技師認定機構「X線CT認定技師」の更新講習会受講のための単位取得

大会HP <http://www.kuba.co.jp/jsct2017/index.html>



日本CT検診学会2017年夏期セミナー

開催日 2017年7月22日(土)

会 場 コクヨホール(〒108-0075 東京都港区港南1丁目8-35)

アクセス <http://www.kokuyo.co.jp/com/hall/access/> (JR品川駅港南口(東口)を出て徒歩5分)

代表世話人 丸山 雄一郎(JA長野厚生連 小諸厚生総合病院)

参加費

	医師、メーカー、工学関係者	放射線技師他
会員	10,000円	5,000円
一般	15,000円	10,000円

※当日、年会費1万円をお支払いいただき、入会手続きされた方は会員での参加とさせていただきます。

プログラム

第21回 読影セミナー

担当：丸山 雄一郎 (JA長野厚生連 小諸厚生総合病院)

第16回 肺気腫セミナー

担当：佐藤 功 (香川県立保健医療大学)

第11回 技術セミナー

担当：長島 千恵子 (国立がん研究センター中央病院)

認 定

- ・肺がんCT検診の認定医師および認定技師で、更新を目指している方の受講をお勧めいたします。

認定医師：読影、肺気腫セミナーへの参加……5単位

認定技師：セミナーへの参加……7単位

- ・日本呼吸器学会専門医資格更新に係る研修単位の2単位を取得できます。

詳細HP http://www.jscts.org/index.php?page=seminar_index

第25回日本CT検診学会 学術集会

テーマ 高精度CT検診の普及とがん死亡の減少をめざして

開催日 2018年2月9日(金)～10日(土)

会場 新潟グランドホテル (〒951-8052 新潟県新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地)

アクセス <http://www.ni-grand.co.jp/access/>

大会長 和田 真一 (新潟大学医歯学系保健学系列)

事務局

第25回日本CT検診学会学術集会 大会事務局

〒951-8518 新潟県新潟市中央区旭町通り2-746

TEL: 025-227-2398 FAX: 025-227-2398

第25回日本CT検診学会学術集会 運営事務局

(株)アド・メディック内

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル13F

TEL: 025-245-4087 FAX: 025-247-8101

大会HP: <http://www.jscts.org/taikai25/> (準備中)



編集後記

桜前線は順調に北上しているようですが、皆様方のほうはいかがでしょう。

肺がんCT検診認定機構メールマガジン 第21号をお届けします。メールマガジンは機構と認定医師・技師の方々とを結ぶ重要なパイプの一つですので、ぜひご覧ください。

今回は、機構の理事会・総会の報告、すでに行われた認定技師・医師の講習会の報告および今後の予定と関連学会の会議の案内をさせていただきます。

総会では、定款の変更により理事の人数を増やしましたので、新たに就任された理事・監事のご挨拶と、退任された萩原監事のご挨拶を掲載いたしました。萩原監事には創立以来常に適切なお指導をいただき感謝しております。また新たに就任していただいた役員の皆様方はそれぞれ現在のこの分野のエキスパートの方々ですので今後のご活躍を心から願っております。総会ではいよいよ施設認定医へのタイムスケジュールもきまり、次年度からはいよいよ発足することになりました。

次に、認定技師の認定講習会、更新講習会および医師の認定講習会の様子を報告しております。認定技師の講習会はまだ、会場の都合で受講すること自体が狭き門になっています。現在すべての都道府県に認定医師および技師は在籍しておりますが、偏りも大きく1名のみの県も少なくありません。次回からはできるだけ多くの方に受講していただけるよう、試験を1日に2回行うなどの方法に変更する予定です。施設認定が始まりますと、認定技師の方が在籍しているのは必須の条件になります。このような狭き門を通して得た資格ですので、ぜひ全員更新していただきたいと思います。

7月、8月には認定技師、認定医師の講習会も行います。詳細はホームページで確認していただきますが、医師の講習会は例年8月の最終日曜日に行っていましたが、今年は1週早くまた会場も異なりますのでご注意ください。

関連学会のお知らせとして、日本CT技術学会の学術大会、および日本CT検診学会の夏期セミナーと学術集会を紹介しております。特に日本CT検診学会は本機構の設立母体ですので、認定医師・技師の方々は全員入会され参加されることを願っております。

(文責：金子昌弘)

肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第21号

2017年4月19日発行

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
株式会社クバプロ内「NPO法人肺がんCT検診認定機構事務局」

編集責任者 金子昌弘

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：ct-nintei@kuba.jp

WEBSITE：http://www.ct-kensin-nintei.jp/